

令和8年度 大町北部小学校 経営構想

教育目標 学び続ける子ども

【教育理念】

「子どもが自分の可能性を育む学校づくり」

めざす教師像：子どもの可能性を信じ、寄り添う教師

めざす学校像：授業を根幹とする学校

《 学校づくりのねらい 》

子どもが自分の可能性を育む学校づくりと、
対話ベースで子どもが互いに学び合う授業づくりを通して
自己有用感を高め、学び続ける子どもを育成する。

めざす子ども像

- *わくわく まなぶ (学びを楽しむ子ども)
- *じぶんで すすむ (自分で意思決定をして取り組む子ども)
- *みんな たいせつ (自他を大切にしている子ども)

《 教育課題と重点 》

教育課題 質の高い対話 (仮)

(重点1・ 学びづくり)

子どもの知的好奇心を基にした問いを、対話を基盤として解決する過程を通して、中核的な概念を形成する深い学びを創る。

(重点2・ 関係づくり)

互いの考えを出し合う中で折り合いをつけて合意形成を図る特別活動により、聴き合う関係を築く。

《 教育システム 》

○学習システム

- ・大町南部小学校、大町中学校と「協働の学び」でつなぐ小中一貫カリキュラム
- ・個別最適な学びと協働の(的な)学びの一体化を図る学習
- ・総合的な学習の時間(hokubu time 仮)を柱とした探究的な学習

○地域との協働システム

- ・学校運営協議会制度をもとにした学校づくり
- ・保護者、学校支援ボランティアと共につくる、ふるさと大町で学ぶ地域学校協働活動(hokubu カフェ)の推進

○職員の研修システム

- ・学年合同授業や学年内教科担任制をもとにしたチーム連携による学級・学年づくり
- ・職員一人一人が自分の専門性を高め自己課題に向かうための環境づくり(学び合いの場[L C]、講師招聘 等)
- ・子どもの姿から語り合うトークミーティング